

サポートルームだよ!

拠点校 東蒲小学校 校長 長井 哲郎
 巡回校 大森第三小学校 校長 島村 博
 巡回校 蒲田小学校 校長 横山 圭介
 巡回指導教員 田中彩子 山本千尋 林蓉子

新型コロナウイルスの影響で、お子さんも、保護者の方も、いつになったら通常通り登校できるか、落ち着いた日々を過ごされていらっしゃると思います。

予想以上に厳しい状況ではありますが、できるだけ規則正しい生活をし、学校からの課題を進めながら過ごして欲しいと思います。また、保護者の方のご負担も計り知れません。なにかご心配なことがあれば、ご連絡願います。

東蒲小学校 03 (3732) 9635

※臨時休校中は拠点校勤務となりますので、上記番号の登録をお願い致します。

【教材紹介】

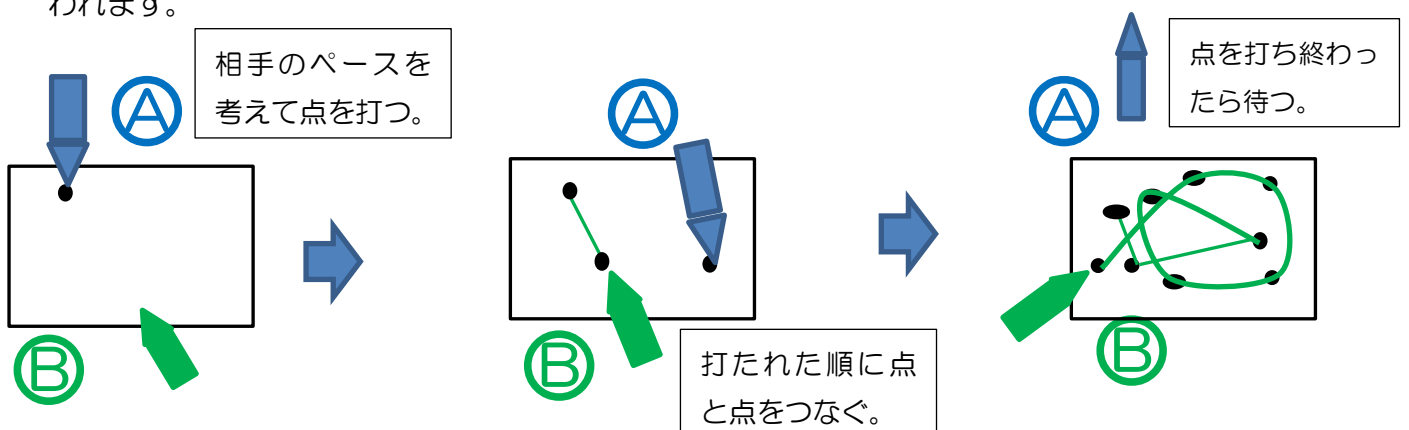
サポートルームの活動の中から、おうちでできるP&Pゲームをご紹介します。ぜひお子さんと一緒にやってみてください。P&Pとは、Paper and Pen、つまり紙とペンだけでできるゲームのことです。「P&P」でweb検索すれば、たくさん種類がでてきます。今回はおすすめの2つを紹介します。

・点おいかけっこ【めあて】対象を見る。相手と合わせる。

- ①2人1組で行います。
 - ②A3あるいはB4の紙、タイマー、鉛筆2本を用意します。
 - ③どちらが先に点を打つかを決めます。
 - ④点を打つ人は鉛筆を紙の上に点を打つ状態で構えます。
 - ⑤スタートで開始します。
- 点を打つ人(A)は次々に点を打ちます。
 点と点をつなぐ人(B)は打たれた点を追って、つないでいきます。
- ⑥1分間でできるだけたくさん点を打ったり、つないだりしましょう。
 - ⑦時間になったら終わり。次は紙を変えて、役割を交代します。

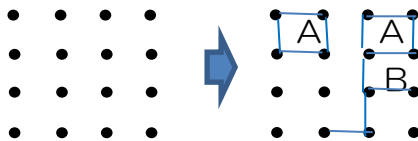
注意 できるだけ紙全体を使って点を打つ。点は打たれた順につなぎ、どんどんつなぐ。

☆①の人は、相手のペースを考えて打つため、相手に合わせる力が、②の人は点を追う「追視」の力が養われます。



・ドットゲーム【めあて】よく考えて線を引く。

① 紙に、だいたい等間隔になるよ
に点を4列描きます。



② 自分の番が来たら、点と点を
1本の線でつなぎます。

どこに線をひいてもOK!

③ 線で四角形ができたなら、その四角形は最後の線を引いて四角形を完成させた人の陣地になります。

四角の中に名前や頭文字などを書いて、誰の陣地かわかるようにします。(上の図はAさんの陣地が2つ、Bさんの陣地が1つで、Aさんが優勢です。)

④ これを順番に繰り返していき、最終的に四角形の数が多い人が勝ちです。

☆「自分がここに線をひいたら、相手はどうするかな。」等、一手先を読む力、考えてから行動する力を育てます。勝敗がはっきりするので、負けの苦手な子には気持ちのコントロールの練習にもなります。

【先生たちから子供たちへメッセージ】

学校再開、サポートルームの指導開始を職員一同心待ちにしています。お子さんにぜひお見せください。

児童のみなさん

お身体に変わりはありませんか。休校が長引くと落ち着かないですね。

先生は、朝夕ウォーキングをして体調管理をしています。工夫して、元気に過ごしてくださいね。

田中先生より

児童のみなさん

お元気ですか。学校がお休みの間、先生はみんなとやりたい活動をたくさん準備しています。これをやったら楽しいだろうなとわくわくしてばかりです。会える日を楽しみに待っています。

山本先生より

児童のみなさん

初めまして、元気に過ごしていますか。私はみなさんと会える日を楽しみにしながら、サポートルームの先生たちと学習活動の準備を進めています。一緒に活動できる日を心待ちにしています。

林先生より